

令和6年度 福井市越廼中学校スクールプラン

福井市学校教育目標
 「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」
福井市学校教育方針
 学びをつなぐ・未来につなげる
 ～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

越廼中学校区教育テーマ
 「地域に誇りを持ち、世界にたくましくはばたく越廼っ子の育成」

【学校教育目標】
 知・徳・体の調和のとれた、地域を愛する生徒の育成

【めざす生徒像】

- ◆ 目標をもって、ねばり強く学び続ける生徒
- ◆ 人間関係を深め、互いに認め高め合える生徒
- ◆ 地域と関わる活動に主体的に参画する生徒



教師・家庭・地域の願い

- ・学習や運動に粘り強く取り組む子
- ・地域を愛し、次代を担う子

生徒の実態

- ・明るく素直で、学習課題に対してまじめに取り組む。
- ・地域活動に積極的である。
- ・発表や質問、他者との話し合いができる。

【研究主題】
 「課題解決に向けて主体的に取り組む生徒の育成」
 ～ つながりを意識し、自己指導能力を高める教育活動 ～

<p>確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 自己の学びを振り返り、主体的に学ぶ生徒の育成 ○ 基礎・基本の確実な定着 	<p>豊かな心・健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 自他を認め、高め合える学級・学校づくり ○ 夢や希望をもち、自己を見つめながら、目標に向かって努力する生徒の育成 	<p>地域と連携した「越廼PR」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 地域や学校に誇りを持ち、積極的に地域活動に参画する生徒の育成 ○ 体験を通した「ふるさと学習」の推進 	<p>協働し学び続ける教師</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 現職教育の充実 (学習評価、ICT活用、生徒指導) ○ 小中連携・他中学校連携の充実
<p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的な学びにつながる課題設定 ・ 学習の振り返りと評価の工夫 ・ ICTを活用した協働的な学習、個別最適な学習の推進 ・ NIEの推進 	<p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳や特別活動(自治的活動やSGE等)の工夫による居場所づくり・絆づくり ・ 多様な他者との関わりを通したキャリア教育の推進 ・ 薬物乱用防止、情報モラル教育の実施 	<p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「越廼PR」を軸とした地域活動への参画、カリキュラムの更新 ・ オーストラリアへの修学旅行と関連付けた「ふるさと学習」 ・ HPや便り等の発行と学校公開 	<p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力調査結果分析と授業改善 ・ 学校DX、ICT活用、学習評価、教育相談等の研修 ・ 越廼小、へき地複式校、他中学校との連携の充実

<p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 興味・関心に応じた課題設定や課題解決型の学習を取り入れている教師 8割 ・ 学習を振り返って、自己の学びを調整しようとする生徒 8割 ・ 新聞や本を週1時間以上読む生徒 8割 ・ ICTや新聞を授業等で活用する教師 10割 ・ ドリルコンテストへ向けて学習に意欲的に取り組み、合格できる生徒 8割 	<p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校が楽しいと感じる生徒 9割 ・ 多様な他者との交流、居場所づくり・絆づくりを推進する教師 8割 ・ 夢や希望、努力していることがあり、目標に向かって挑戦する生徒 7割・保護者 7割 ・ 生徒の個性を認めて褒めたり、悩みに寄り添って支援したりしている教職員 10割 ・ ネットトラブル、いじめ ゼロ又は解消 	<p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と関わる行事やボランティア活動に主体的に取り組む生徒 10割 ・ 「越廼PR」を軸とした教科横断的なカリキュラムの更新 年2回 ・ 専門家や地域と連携した危機管理マニュアルの更新・避難訓練 年各1回以上 ・ オーストラリアでの国際交流や越廼PR活動に主体的に取り組む生徒 10割 	<p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学調の分析を、授業や活動場面での改善に生かす教師 10割 ・ 学校DX、ICT活用研修等の開催 年3回以上 ・ 研究主題や個人研究テーマについて組織で学び合い、実践する教師 10割 ・ 中学校区教育の重点事項と成果指標を意識して実践している教師 10割 ・ 東陸へき複大会、学校行事を通じた他中学校との合同学習 年各1回以上
--	---	---	--

<業務改善のための取組>

- ・ 学校DX化の推進 (教頭会・事務職員部会と連携した共有文書の整理と管理、電子掲示板の活用、連絡エクステンジの活用 等)
- ・ 複数顧問制による部活動運営
- ・ 18:30までに退勤
- ・ 学年道徳制による授業改善
- ・ 年休の11日以上の取得
- ・ 放課後学習会へのAIドリル導入
- ・ 校時の見直しと下校時刻の繰り上げ
- ・ 超過勤務月45時間以上の教職員50%以下